

五所川原市
博物館等整備計画

2020年3月策定

2025年3月改訂

五所川原市

社会教育課

<目次>

1. 計画の目的	1
2. 本計画の位置付け	1
3. 計画期間	1
4. 対象施設	2
5. 博物館等の現状	2
6. これまでの整備状況	3
7. 今後の整備方針	3
8. フォローアップの実施	5
個別票	6

1. 計画の目的

近年、本市を含む多くの地方公共団体においては、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。また、厳しい財政状況が続く中、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されています。このことから、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。

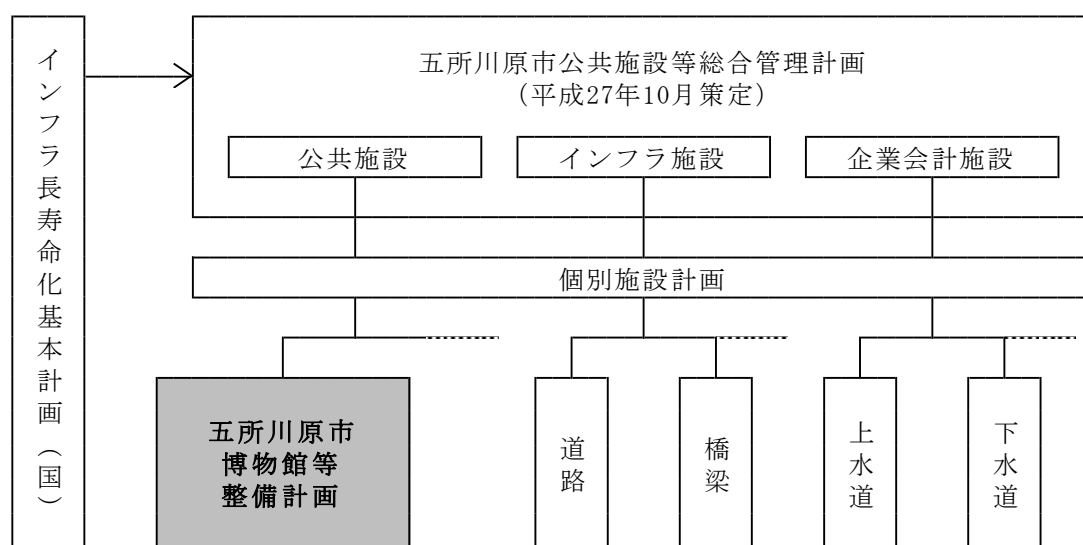
そのような中、国は2013年（平成25年）11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各地方公共団体においても、このような国の動きと歩調を合わせ、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画の策定に取り組むよう要請されたところです。

これらを踏まえ、本市では2015年（平成27年）10月に「五所川原市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」といいます。）を策定し、基本的な方針を示しました。

今回策定しました「五所川原市博物館等整備計画」（以下「本計画」といいます。）は、総合管理計画で示した基本的な方針を具現化するため、個別施設ごとに今後の方向性やスケジュール、方向性に伴う事業費などについて取りまとめたものであり、将来に向けて、保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の適正化や計画的な保全による施設の長寿命化を図る取組の指針とするものです。

2. 本計画の位置付け

本計画は、総合管理計画に基づく実施計画である個別施設計画として位置付けます。



3. 計画期間

総合管理計画の計画期間同様 2044年度（令和26年度）までとし、5年ごとに見直しを行っていきます。

なお、本市を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行っていきます。

個別施設計画	第Ⅰ期 策定～2024年度	第Ⅱ期 2025～2029年度	第Ⅲ期 2030～2034年度	第Ⅳ期 2035～2039年度	第Ⅴ期 2040～2044年度
公共施設等総合管理計画	策定～2044年度（30年間）				

4. 対象施設

本計画での対象施設は以下のとおりです。

No	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	老朽化率 (%)	備考
1	旧十三湊発掘調査整理事務所	十三琴湖岳	1,900.00	1974	112.0	
2	旧西沢家住宅 (主屋)	金木町朝日山	628.87	1933	440.9	国登録有形文化財
	旧西沢家住宅蔵		329.26	1936	470.0	
3	旧平山家住宅	湊字千鳥	569.79	不明	—	国指定重要文化財
	旧平山家住宅管理棟		8.28	1996	141.7	
	旧平山家住宅文蔵庫		70.88	1996	141.7	
	旧平山家住宅公衆便所		29.81	1996	226.7	
	旧平山家住宅ポンプ小屋上屋		20.00	1996	226.7	
4	楠美家住宅	持子沢字隠川	507.53	2006※	109.1	市指定文化財 ※移築した年
	楠美家便所		38.71	2005	166.7	
	楠美家倉庫 (土蔵)		79.48	2005	166.7	
	楠美家須恵器窯場上屋 (大)		69.12	2006	77.4	
	楠美家須恵器窯場上屋 (小)		34.02	2006	77.4	
5	太宰治記念館「斜陽館」	金木町朝日山	1,367.12	1907	559.1	国指定重要文化財
6	旧五所川原市歴史民俗資料館	湊字千鳥	649.56	1983	94.0	
7	旧金木歴史民俗資料館	金木町芦野	355.13	1978	104.0	
(8)	(市浦歴史民俗資料館 ※)	十三土佐	※観光・レクリエーション施設整備計画のNo.6十三湖中の島ブリッジパークの構成施設として記載			
合計			6,657.56			

※老朽化率は、経過年数を耐用年数で割った値 (2030年3月31時点)

5. 博物館等の現状

①文化財施設

文化財保護法及び市文化財保護条例により「有形文化財」のうち重要なものをそれぞれ「重要文化財」、「指定文化財」と指定しています。いずれの文化財も、それを保存し、かつ活用を図り、もって国民(市民)の資質向上を図ることを目的とした施設であり、これらの目的を果たすために維持してきた施設です。

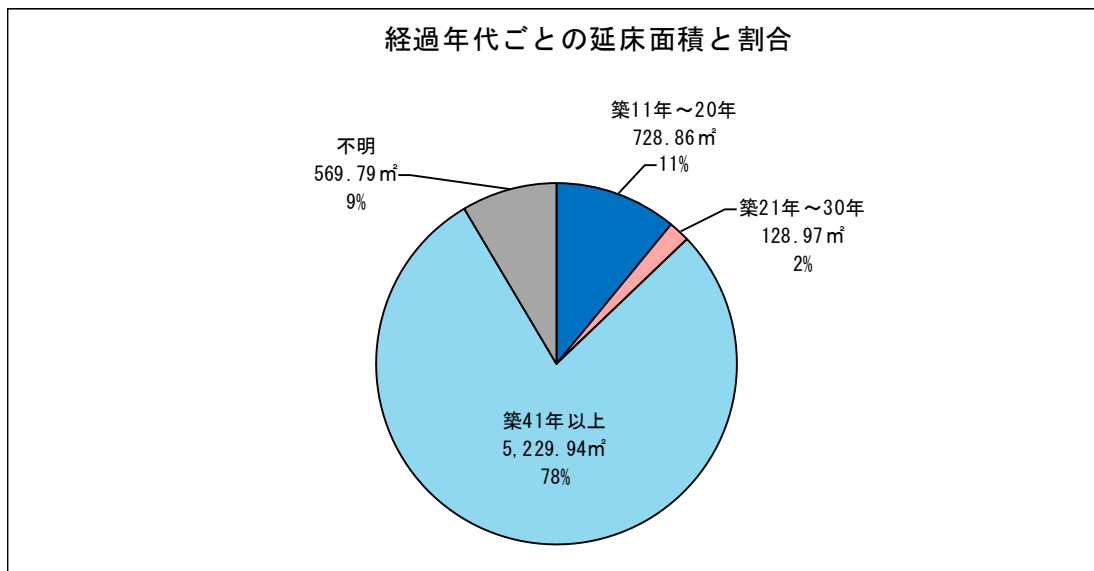
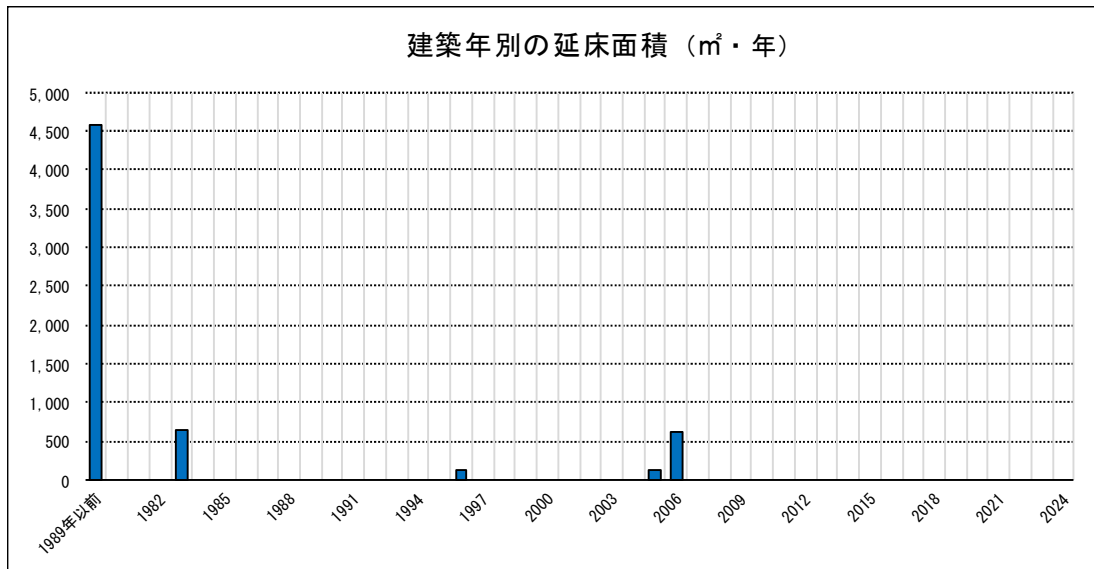
現在、国重要文化財が2施設、国登録有形文化財が1施設、市指定文化財が1施設となっていますが、いずれも老朽化が深刻な課題となっており、小破修繕で老朽化を遅らせつつ、大規模改修に備えます。

②博物館相当施設等

市の歴史民俗資料館は、旧市町村ごとに全部で3館ありましたが、現在稼働しているのは市浦歴史民俗資料のみで、他2館は廃館しています。市浦歴史民俗資料館では十三湊遺跡をはじめ、市内の遺跡から出土した考古遺物を中心に展示しています。

また、その他の出土遺物や市内全域の収蔵物、美術品等は、各歴史民俗資料館や廃校舎、旧十三湊発掘調査整理事務所など各所に保管されている状況です。

旧五所川原市歴史民俗資料館は、除湿機能が整備されていることから、絵画等の美術品等の保管場所と、出土遺物の整理作業場所として利用しており、今後も継続する予定です。旧金木歴史民俗資料館は令和8年度除却予定です。



6. これまでの整備状況

最近の主な整備・改修状況は以下のとおりです。(総事業費が 10,000 千円以上の主な事業)

事業名	旧津島家住宅煉瓦塀耐震補強事業
事業年度	2011 年度 (平成 23 年度) ～2014 年度 (平成 26 年度)
事業内容	斜陽館煉瓦塀耐震補強工事
総事業費	147,964 千円 (財源：国庫 96,130 千円、地方債 51,200 千円、一般財源 634 千円)

7. 今後の整備方針

①文化財施設

国重要文化財である旧平山家住宅及び太宰治記念館「斜陽館」は計画的に整備し、保存・活用を図ります。まずは斜陽館の屋根および腐朽部分の改修を優先して実施します。旧平山家住宅は建物骨組みの腐朽が進行しないよう小破修繕で対処します。以後は体制が整い次第、大規模改修を実施していきます。

なお、国重要文化財以外の施設は廃止していきますが、文化財の指定をどう扱っていくかが課題となります。

②博物館相当施設等

市浦歴史民俗資料館（観光・レクリエーション施設整備計画参照）は、市唯一の開館している資料館であります。中の島ブリッジパーク（観光・レクリエーション施設整備計画参照）の構成施設となっているため、同施設の方向性に応じて同資料館の移設などについて検討が必要となります。

旧金木歴史民俗資料館及び旧十三湊発掘調査整理事務所は、保管してある遺物や収蔵物、美術品等を他の公共施設の空きスペースに移動した後、除却します。なお、旧十三湊発掘調査整理事務所は指定史跡内に建設されていることから、除却時には発掘調査が必要になります。

旧五所川原市歴史民俗資料館は、修繕・改修を計画的に行うことにより長寿命化を図るとともに、菊ヶ丘運動公園に隣接している立地条件等を生かしながら、現施設を維持・活用していきます。

①施設の基本的な方針

No	施設名称	方向性	管理方法	特記事項
1	旧十三湊発掘調査整理事務所	除却	直営	指定史跡内のため解体後は発掘作業が必要
2	旧西沢家住宅	存続	直営	
3	旧平山家住宅	存続	直営	
4	楠美家住宅	民間移譲	直営・指定管理	
5	太宰治記念館「斜陽館」	存続	指定管理	
6	旧五所川原市歴史民俗資料館	転用	直営	
7	旧金木歴史民俗資料館	除却	直営	

※方向性の説明

方向性	説明
存続	現状のまま維持する。（各種改修・統合・複合化・更新などを行う。）
転用	施設機能を廃止し、他の用途へ転用する。
民間移譲	民間事業者等へ譲渡等を行う。
除却	施設を解体撤去する。（解体時期検討中を含む。）

※管理方法の説明

管理方法	説明
直営	市の直営（個別の業務ごとに私法上の契約で委託する方式を含む。）
指定管理	指定管理者による管理運営方式
包括的民間委託	複数の業務や施設を包括的に委託する方式
P F I など	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方式

②改修等の今後のスケジュール

No	施設名称	第Ⅰ期					第Ⅱ期				
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
5	太宰治記念館「斜陽館」										改修
7	旧金木歴史民俗資料館							解体			

No	施設名称	第Ⅲ期 (2030～2034)	第Ⅳ期 (2035～2039)	第Ⅴ期 (2040～2044)
1	旧十三湊発掘調査整理事務所		解体	
3	旧平山家住宅	改修	改修	改修
5	太宰治記念館「斜陽館」	改修	改修	改修

※改修等の説明

改修等	説明
改修	建物や設備の改修
建替	老朽化等のため建物を建替（非現地建替えを含む。）
解体	施設を解体

③改修等の事業費及び財源

No	施設名称	事業年度	事業費 (千円)	事業費内訳 (千円)	財源 (千円)
1	旧十三湊発掘調査整理事務所	第Ⅳ期	125,400	解体工事 (125,400)	一般財源 (125,400)
3	旧平山家住宅	第Ⅲ期	10,000	改修 (10,000)	地方債 (10,000)
		第Ⅳ期	10,000	改修 (10,000)	地方債 (10,000)
		第Ⅴ期	10,000	改修 (10,000)	地方債 (10,000)
5	太宰治記念館「斜陽館」	2029	30,000	設計監理 (3,000) 改修 (27,000)	地方債 (30,000)
		第Ⅲ期	10,000	改修 (10,000)	地方債 (10,000)
		第Ⅳ期	10,000	改修 (10,000)	地方債 (10,000)
		第Ⅴ期	10,000	改修 (10,000)	地方債 (10,000)
7	旧金木歴史民俗資料館	2026	23,439	解体工事 (23,439)	一般財源 (23,439)

※事業費等は、調査・設計の結果を受けて変動する場合があります。

④今後の施設の総面積とコスト推計

総延床面積 (㎡)				
現在	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
6,657.56	6,302.43	6,302.43	4,402.43	4,402.43
維持管理コスト (千円)				
現在	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
11,791	35,333	35,233	35,233	35,233

8. フォローアップの実施

本計画を着実に推進していくため、PDCAサイクル（Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善））に基づき、計画の評価・見直しを行いながら実施していきます。

1. 施設の概要及び目的

施設名称	旧十三湊発掘調査整理事務所	総延床面積 (㎡)	1,900.00
所在地	五所川原市十三琴湖岳 497 番地 2	代表建築年 (年)	1974
構成施設	発掘調査整理事務所		
施設の目的	市内で実施した遺跡の発掘調査で出土した遺物の整理作業を実施、保管するため。		

2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
発掘調査整理事務所	4	8	10	16	2	40

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
0	0	0	0	0	0	0		

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
781	0	0	0	0	0	0		

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
16	12	28	17	17	14	14		

3. 基本的な方針

方向性	除却	管理方法	直営	特記事項	指定史跡内のため、解体後は発掘作業が必要
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>廃校後の旧十三小学校を十三湊発掘調査整理事務所として、市浦地区の遺跡から出土した遺物の整理作業場兼保管場所として活用していました。1981 年 (昭和 56 年) 以前に建設された施設であり、作業場として利用するには耐震性に課題があります。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>耐震性に課題があることから、本計画第IV期中を目途に除却します。</p> <p>現在保管している市浦地区の遺跡から出土した遺物については、施設の除却前までに、代替施設若しくは他の公共施設の空きスペースへ移動します。</p>					

1. 施設の概要及び目的

施設名称	旧西沢家住宅	総延床面積 (㎡)	958.13
所在地	五所川原市金木町朝日山 319 番地 11	代表建築年 (年)	1933
構成施設	旧西沢家住宅 (主屋)、旧西沢家住宅蔵		
施設の目的	市の歴史や文化を伝え、もって市民の郷土を愛する心をかん養するため。		

2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
旧西沢家住宅 (主屋)	4	8	6	4	2	24
旧西沢家住宅蔵	4	8	6	4	2	24

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
107	0	0	0	0	100	0	0	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
7	7	15	0	5	7	0	0	0

3. 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>国登録有形文化財となっていますが、施設の老朽化が著しく、近隣施設への影響も危惧されるところです。金木中心部を整備していく中で、その活用方法を検討してきたものの、有効な手立てが見出せていません。</p> <p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>本文化財は、施設の老朽化や建築基準法への適合等、問題が山積しており、また、国登録有形文化財として登録されているため、廃止するためには国等との協議が必要になります。このことから、今後の国の動向について注視するとともに、改修等は行わず、現状のまま維持することとします。</p>				

1. 施設の概要及び目的

施設名称	旧平山家住宅	総延床面積 (㎡)	698.76
所在地	五所川原市大字湊字千鳥 142 番地	代表建築年 (年)	不明
構成施設	旧平山家住宅、管理棟、文蔵庫、公衆便所、ポンプ小屋上屋		
施設の目的	市の歴史や文化を伝え、もって市民の郷土を愛する心をかん養するため。		

2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
旧平山家住宅	4	8	6	4	2	24
管理棟	20	8	6	4	2	40
文蔵庫	20	8	6	4	2	40
公衆便所	20	8	6	4	2	40
ポンプ小屋上屋	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
802	892	886	483	592	179	179	179	179

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
2,583	2,239	2,078	3,699	3,599	3,602	3,602	3,602	3,602

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>国指定重要文化財であり、今後も適正に保存・管理していく必要があります。</p>				
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>周囲の景観に影響を与えないよう施設の維持管理に努めながら、適宜建物の小破修繕を実施します。</p> <p>また、保存するだけにとどまらず、菊ヶ丘運動公園等、市民の憩いの場に隣接している立地状況を生かし、旧平山家住宅の周知・活用を図ります。</p>				

1. 施設の概要及び目的

施設名称	楠美家住宅	総延床面積 (㎡)	728.86
所在地	五所川原市大字持子沢字隠川 695 番地 4	代表建築年 (年)	2006
構成施設	楠美家住宅、便所、倉庫 (土蔵)、須恵器窯場上屋 (大)、須恵器窯場上屋 (小)		
施設の目的	市の歴史や文化を伝え、もって市民の郷土を愛する心をかん養するため。		

※代表建築年は、現在に移築した年です。

2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照)

(単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
楠美家住宅	4	8	6	4	2	24
便所	20	8	6	4	4	42
倉庫 (土蔵)	4	8	6	4	2	24
須恵器窯場上屋 (大)	20	16	8	4	2	50
須恵器窯場上屋 (小)	20	16	8	4	2	50

(2) 供給面 (施設延利用者数)

(単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
11,352	10,219	10,490	7,597	7,715	0	0	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト)

(単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
4,992	4,947	4,947	5,196	5,593	985	985	985	985

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入)

(単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
3	4	4	4	4	4	4	4	4

3. 基本的な方針

方向性	民間移譲	管理方法	直営・指定管理	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>市指定文化財で、現在地に移築後 15 年が経過し、指定管理者による施設の維持管理を実施していますが、施設の老朽化により毎年の小破修繕のほか屋根葺き替え等の大規模改修も必要となります。</p>				
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>市指定文化財ではありますが、利用者が少なく、施設の設置目的を達成することが難しいことから、狼野長根公園が隣接している特色を活かした、一体的な利活用方法等について検討します。</p>				

所管課	社会教育課
-----	-------

1. 施設の概要及び目的

施設名称	太宰治記念館「斜陽館」	総延床面積 (㎡)	1,367.12
所在地	五所川原市金木町朝日山 412 番地 1	代表建築年 (年)	1907
構成施設	斜陽館		
施設の目的	作家太宰治（本名津島修治）に関する資料を調査収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に観覧に供し、もって教育、文化の向上及び発展に寄与するため。		

2. 施設の現況

(1) 品質面（建物性能）※品質面の合計は 100 点満点（表 1 参照） (単位：点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
斜陽館	4	8	6	16	2	36

(2) 供給面（施設延利用者数） (単位：人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
85,120	79,919	70,306	47,072	55,632	70,000	70,000	70,000	70,000

(3) 財政面（支出：施設に係る維持管理コスト） (単位：千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
476	0	69	2,383	1,638	30,246	30,246	30,246	30,246

(4) 財政面（収入：利用料等収入） (単位：千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
3	4	4	4	4	4	4	4	4

3. 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	指定管理	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>国指定重要文化財で、1996 年（平成 8 年）に大規模改修を実施しており、その後、壁、屋根等の一部改修を実施しています。</p>				
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>全国的に知名度が高く、入館者も多く訪れる施設であることから、入館者の安全確保の観点からも適切に改修を行い、長寿命化を図ります。</p>				

所管課	社会教育課
-----	-------

1. 施設の概要及び目的

施設名称	旧五所川原市歴史民俗資料館	総延床面積 (㎡)	649.56
所在地	五所川原市大字湊字千鳥 102 番地 1	代表建築年 (年)	1983
構成施設	歴史民俗資料館		
施設の目的	市及び周辺における自然、文化、歴史、産業等に関する資料を収集し、これを保管し、展示することで調査研究に資するため。		

2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
歴史民俗資料館	20	16	10	4	8	58

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
246	983	463	983	961	400	400	400	400

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 基本的な方針

方向性	転用	管理方法	直営	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】 本施設は、既に設置条例を廃止した施設であり、現在は民具・考古資料等の収蔵庫兼発掘調査整理作業場として利用しています。</p>				
<p>【基本的な方針の考え方】 現在保管している民具や考古史料等の収蔵品については、他の公共施設の空きスペースへ移動します。 本施設に整備されている空調や除湿機能を活用し、絵画等の美術品の保管庫や、出土した遺物の調査整理作業場として利用するため、機能維持に係る修繕や改修を計画的に行うことにより、施設の長寿命化を図ります。</p>				

所管課	社会教育課
-----	-------

1. 施設の概要及び目的

施設名称	旧金木歴史民俗資料館	総延床面積 (㎡)	355.13
所在地	五所川原市金木町芦野 234 番地 1	代表建築年 (年)	1978
構成施設	歴史民俗資料館		
施設の目的	市及び周辺における自然、文化、歴史、産業等に関する資料を収集し、これを保管し、展示することで調査研究に資するため。		

2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
歴史民俗資料館	4	8	10	4	2	28

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
0	0	0	0	0				

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
79	71	0	0	0				

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
3	3	6	0	0				

3. 基本的な方針

方向性	除却	管理方法	直営	特記事項
【施設の状況及び課題】 本施設は、既に設置条例を廃止した施設であり、現在は郷土資料・民具・考古資料等の収蔵庫として使用しています。				
【基本的な方針の考え方】 現在保管している郷土資料・民具・考古資料等の収蔵品については、他の公共施設の空きスペースへ移動させ、2026 年度に除却します。				

【表1】建物性能

評価基準に重みを掛けたものを建物性能とする。

評価基準		重み
①耐震性能	5点：新耐震基準（建築年が1981年（昭和56年）以降） 4点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.72以上） 3点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.6以上） 2点：旧耐震基準であるが今後耐震改修の計画有り 1点：旧耐震基準（建築年が1981年（昭和56年）前）	×4
②老朽化状況 ※2030年3月31日時点老朽化率により算出	法定耐用年数に対する建築経過年数の割合を以下の区分で評価。 5点：0～25%未満 4点：25～50%未満 3点：50～75%未満 2点：75～100%未満 1点：100%以上	×8
③主体構造	5点：主体構造が鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、プレキャストコンクリート等 4点：主体構造が鉄骨造、軽量鉄骨造など 3点：主体構造が木造、コンクリートブロックなど	×2
④大規模改修状況	5点：建築後20年以内の建物（大規模改修が不要） 4点：建物本体の改修を実施 3点：設備の改修を実施 2点：未実施だが、改修計画有り 1点：未実施	×4
⑤福祉性能	エレベーター、多目的トイレ、車いす用スロープ、自動ドア、手すり、点字ブロックの6項目のうち、対応している項目数に応じて評価。 5点：4項目以上対応済 4点：3項目対応済 3点：2項目対応済 2点：1項目対応済 1点：未対応	×2